



好奇心をくすぐる

南島原の夏祭典

かづさ花火大会

8月16日 20:30~21:00
(雨天時:翌日開催)
加津佐前浜海水浴場



活き生きサマーフェスタinふつ

8月16日 16:00~21:00
(雨天決行)
布津こんぴら公園

ありえ浜んこら祭

8月24日 9:00~22:00
(雨天決行)
マリンパークありえ

企画振興課 ☎050(3381)5030

明日の世界遺産

THE TOMORROW'S WORLD HERITAGE

CHAPTER.29

富士山の世界遺産登録が決定

6月22日、第37回ユネスコ世界遺産委員会で、日本が推薦した「富士山」（登録名称：富士山－信仰の対象と芸術の源泉）の世界遺産登録が決定しました。

直前まで、構成資産の1つである三保松原が除外される見通しでしたが、最終的には三保松原を含む全ての構成資産が世界遺産として認められました。

一方で課題も

世界遺産委員会では、登録が決議されましたが、併せて2016年2月1日までに世界遺産センターに保全状況報告書を提出することが義務づけられました。

これは、「今の計画では保存や管理が不十分です。きちんとした計画を3年以内に作って提出してください」という宿題が渡されました。

そして、3年後の世界遺産委員会で指摘事項を解決できていないと判断されれば、世界遺産の登録取り消しということも十分に考えられます。

もう始めなければなりません

市では、構成資産である日野江城跡、原城跡の価値を世界中の人たちに伝えることができるよう整備するとともに、原城文化センターをガイダンス施設として活用するため改修を行うことにしています。

また、周辺環境の保全や駐車場、トイレなどの施設

世界遺産登録に向けての準備をいつやるか！

を適切に配置するため、周辺整備計画を作成します。このように行政では、世界遺産登録の要件を満たす取り組みと世界遺産の価値を証明し、伝えていくための準備作業を進めています。また、登録のためには、市民皆さんの理解と協力が欠かせませんので、皆さんへの周知啓発や本市の歴史遺産をPRしていくための取り組みも南島原市世界遺産市民協働会議のメンバーや地域の協力団体の皆さんと連携しながら積極的に展開しています。

しかし一方で、世界遺産登録によりもたらされる経済効果を十分に引き出すための準備作業はまだ十分とは言えません。長崎の教会群とキリスト教関連遺産は、平成27年の登録を目標にしており、順調にいくれば、2年後には登録され、多くの観光客が押し寄せることが予想されます。その時に、おもてなし（例えば、日野江城跡、原城跡の道を聞かれて道案内ができる。簡単な歴史を話せる）や宿泊、食事、お土産など、さまざまな面で満足して帰るのか、満足しないまま帰るのかで、その後の観光客数が大きく変わります。

これから先、南島原市が迎える大きなチャンスまで、あと2年しか残されていません。この間に、準備すべき課題をすべて洗い出して、万全な状態で世界遺産登録を迎えることができるよう、市民皆さんのより一層のご理解とご協力、そして市の発展に向けて、一人一人ができる行動を心がけていただければ幸いです。

口之津の富士山から世界遺産登録をアピール

日本の象徴である富士山が世界遺産に登録されました。

この喜ばしい出来事を受け6月25日、民間を中心とした南島原市世界遺産市民協働会議が口之津町にある富士山に登山し、世界遺産に登録された富士山がある静岡、山梨県の方角に向けてお祝いのメッセージを贈りました。また、富士山に続けと、本市の構成資産の早期登録を大声で訴えるなど、南島原市の富士山ゆかりの地から世界遺産登録に向けて意気込みをアピールしました。

